

総括

- 令和元年度は、音楽等の振興事業で収支の改善を図るため、公演の一部中止や執行内容の見直しを行いながら事業を実施したほか、美術等の振興事業では、昨年度に改善された財政状況を軌道に乗せることを念頭におき事業を推進したところ、所期の目的を概ね達成することができた。
- 一方、2月の下旬以降は新型コロナウイルスの影響を受け、ホールでは、主催・共催事業の中止・延期に加え、貸館事業においても利用者への自粛要請等によって施設利用率が低下した。美術館においても同様に、臨時休館等により観覧者数が大幅に減少するなど、大きな影響を受けることとなった。
- なお、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の次期指定期間(令和3年度から7年度まで)における指定管理者の指定について、墨田区議会で審査が行われ、いずれも当財団が指定された。

すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- すみだトリフォニーホールは、平成30年度から5年間にわたり、文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に、全国16の劇場・音楽堂等のひとつとして採択された。2年目を迎えた令和元年度は、「フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演」5事業6公演、「大ホール等における主催公演」7事業9公演を行った。
- 親しみやすい内容の「地域密着・普及啓発型事業」では、「生オケ・シネマ チャップリン」「下野竜也音楽の魅力発見プロジェクト」や、曳舟文化センターでの「ニューイヤー・コンサート」などのおなじみの公演を実施し、多くの区民が訪れた。
- 新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という。)との共演による意欲的な内容の「文化芸術創造・発信型事業」では、「尾上菊之助×新日本フィル」「グレイト・ピアニスト・シリーズ(2公演)」を実施し、歌舞伎とのコラボレーションや前半ソロ後半オーケストラとの共演という当ホール独自のプログラムでの公演を行った。
- 内外で活躍する指揮者やソリストを招いて行う「ブランドイメージ形成型事業」では、エリアフ・インバル指揮による「ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団」や、世界的なチェリストであるジョヴァンニ・ソツリマの「ソツリマと100人のチェリストたち」など話題性の高い公演を実施した。
- 新日本フィルのメンバーによる「アウトリーチ事業」では、区立小中学校での音楽指導事業のほか、コミュニティ・コンサート、区内福祉施設等でのふれあいコンサートを実施した。中でも新日本フィル音楽監督である上岡敏之氏による独自の音楽指導は、児童・生徒や学校関係者に大変好評であった。
- 「区民等による音楽活動の促進及び育成」では、ジュニア・オーケストラによる区内各所での演奏活動や区民音楽祭の開催により、区内アマチュア音楽団体等への発表機会の提供を行った。
- 施設の日数利用率は大ホール 88%、小ホール 78%と、新型コロナウイルスの影響により前年度を下回った。ジャンル別ではクラシック音楽での利用が大ホール 68%、小ホール 62%、入場者数は大小ホール合わせて年間約 21 万 6,000 人となっている。

すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 企画展示は、北斎とその門人の作品展示を基本に北斎の偉業を幅広くとらえ、多角的な展示を5本実施した。

「綴プロジェクト フリーア美術館の北斎展」では、同美術館の門外不出の北斎作品をもとに、企業協賛による最新のデジタルイメージング技術を活用した高精細複製画を製作して展示した。なお、本展は、文化庁の「日本博」主催・共催型プロジェクトに採択された。

「茂木本家美術館の北斎名品展」では、同館コレクションから「富嶽三十六景」ほか北斎の著名なシリーズなどを紹介し、同館以外での初めての本格的な展示を行った。

「北斎視覚のマジック 小布施北斎館名品展」では、同館が所蔵する初期から晩年に至る肉筆画や北斎の代表的な錦絵など、普段は小布施・北斎館でしか見られない名品を展示した。
- 昨年度実施した「常設展プラス」については、4階企画展示室を使用しない期間に可能な限り開催することで、オリジナル作品をほぼ通年で観覧できる環境を整えた。
- 教育普及事業では、北斎や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本に、館に親しみを持つ層の拡大を図る取組みとして、企画展にあわせた各種講座、イベント、ワークショップ等を館内外で実施したほか、児童・生徒及び教育機関に対する取組みとして、区内外の学校で北斎を学ぶ授業や講座等を実施した。
- 他館との交流では、昨年度から交流が始まったポーランドの「日本美術・技術博物館(通称:マンガ館)」との間で、今後のさらなる友好協力を進めていくため友好協力協定を締結し、記念講演会を開催した。
- 今年度の観覧者数は、15万7,034人となり、開館時からの累計では令和元年9月に70万人を達成し、令和元年度末で約77万4,500人となっている。

墨田区域における文化芸術活動の支援事業

- 昨年度に区から事業移管された「すみだ文化芸術活動助成事業」、「すみだ文化芸術サイトの運営」を実施し、区内で活動する文化芸術団体等への支援と文化芸術活動の情報発信を行うことで、区民等による文化芸術活動の活性化を促進した。
- アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」の実行委員会事務局を引き続き担い、北斎、隅田川をテーマに行われる多彩な表現活動に対する補助金の交付や技術サポート等を行うとともに、主催事業としてこのイベントを象徴する企画を実施した。
- 区の「文化芸術振興のあり方」検討調査で提言された、当財団の中間支援機能を高めるため、国や他の自治体等の文化施策に関する情報収集に取り組んだほか、財団アドバイザーボードからの助言を受けて、より効果的な助成制度のあり方について検討を行った。

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

1 音楽等の鑑賞機会の提供

(1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、新日本フィルを活用する公演を実施したほか、世界で活躍する音楽家を招聘し、ホールイメージの向上を目指す魅力的な公演を自主企画として実施した。加えて、親しみやすい内容で安価な料金設定の公演の実施、区民割引の適用で低廉な価格で鑑賞できる機会を提供した。

クラシックや映画音楽をはじめ、令和元年度は歌舞伎とオーケストラのコラボレーションなど様々なジャンルの音楽鑑賞機会を提供し、音楽を主とした舞台芸術の振興を図った。

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1 2	5月25日(土)	新日本フィルの生オケ・シネマ vol.4 チャップリン《キッド》&《担へ銃》 [概要] 「モダン・タイムス」「街の灯」「黄金狂時代」に続く、チャップリン・シリーズ第4弾。コンサートホールとして生音にこだわり、2公演実施 [出演] ティモシー・ブロック(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 映画:チャップリン《キッド》《担へ銃》	[第1回] 649人 [第2回] 807人
3	8月4日(日)	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第6回 オーケストラ付レクチャー [概要] シリーズ企画の第6回。区民を中心とした低料金のオーケストラ鑑賞音楽機会を提供。前回に続きレクチャー付きコンサートとして実施。 [出演] 下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] チャイコフスキー:交響曲 第6番 短調《悲愴》	892人
4	8月27日(火)	尾上菊之助&新日本フィルハーモニー交響楽団 二羽の白き鳥〜《鶯娘》と《白鳥の湖》〜 [概要] 歌舞伎とオーケストラのコラボレーション企画。2016年北斎美術館開館記念公演に続く第2弾として実施 [出演] 尾上菊之助(舞踊・語り)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 舞踊「鶯姫」、チャイコフスキー:「白鳥の湖」	917人
5	12月11日(水)	トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズ 「トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》plus ヴィキングル・オラフソン&新日本フィルハーモニー交響楽団」 [概要] ゴルトベルク変奏曲に影響された作品を中心に、レクチャー付きコンサートとして実施 [出演] ヴィキングル・オラフソン(ピアノ、指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 【第1部:独奏】J.S.バッハ:《ゴルトベルク変奏曲》よりアリア、トーク:ゴルトベルク変奏曲と他の作品への影響について、J.S.バッハ:イタリア風アリアと変奏、ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第32番【第2部:協奏曲】モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」	725人
6	1月20日(月)	トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズ 「ジャンルカ・カシオーリ&新日本フィルハーモニー交響楽団《生誕250周年 オール・ベートーヴェン》」 [概要] 前半ソロ、後半オーケストラとの共演というトリフォニーホール独自のプログラムにより、ソリストの魅力に迫った。 [出演] ジャンルカ・カシオーリ(ピアノ)、本名徹次(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 【第1部:独奏】ベートーヴェン:6つのバガテル、ピアノ・ソナタ第12番「葬送」【第2部:協奏曲】ベートーヴェン:劇付随音楽《シュテファン王》序曲、ピアノ協奏曲第2番	510人

3月10日(火)	<p>【公演中止】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 トリフォニーホール・グレイト・オーケストラ・シリーズ 「上岡敏之&新日フィルハーモニー交響楽団」 [概要] 新日本フィル音楽監督である上岡敏之氏による平和祈念コンサート [出演] 上岡敏之(指揮)、坂東玉三郎(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ベートーヴェン:ゲーテの悲劇《エグモント》への音楽、交響曲第5番</p>	※新型コロナウイルスの影響により公演中止
----------	---	----------------------

■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月2日(日)	<p>ラトヴィア放送合唱団 [概要] 世界的に活躍するプロ室内合唱団。2017年の来日に続きトリフォニーホール2度目の登場。世界最高峰の合唱音楽として実施 [出演] シグヴァルズ・クラヴァ(指揮)、津田裕也、北村朋幹(ピアノ)、ラトヴィア放送合唱団 [演目] ヴァスクス:母なる太陽、沈黙の果実、ブラームス:ワルツ集《愛の歌》より、ワルツ集《新・愛の歌》より ほか</p>	541人
2	6月4日(火)	<p>トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 「ピョートル・アンドルシェフスキ ピアノ・リサイタル」 [概要] 若手から巨匠まで個性的なピアニストをラインナップし実施 [出演] ピョートル・アンドルシェフスキ(ピアノ) [演目] シューマン:フゲッタ形式の7つのピアノ小品、暁の歌、ベートーヴェン:ディアベリのワルツの主題による33の変奏曲</p>	347人
3	6月30日(日)	<p>トリフォニーホール・グレイト・オーケストラ・シリーズ 「アルミンク&ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団」 [概要] 新日本フィルと海外のオーケストラによるシリーズ。オーケストラの集うホールとして、多彩なオーケストラの出演により、ファンの拡大を図ることを目的に実施 [出演] クリスティアン・アルミンク(指揮)、鈴木大介(ギター)、ティエリー・エスケシュ(オルガン)、ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団 [演目] ルカー:弦楽のためのアダージョ、タン・ダウン:ギター協奏曲《Yi2》、サン＝サーンス:交響曲第3番「オルガン付」</p>	701人
4	7月8日(月)	<p>トリフォニーホール・グレイト・オーケストラ・シリーズ 「エリアフ・インバル指揮 ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団」 [概要] 新日本フィルと海外のオーケストラによるシリーズ。オーケストラの集うホールとして、多彩なオーケストラの出演により、ファンの拡大を図ることを目的に実施 [出演] エリアフ・インバル(指揮)、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 [演目] ワーグナー:楽劇《トリスタンとイゾルデ》前奏曲と愛の死、楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より第1幕への前奏曲、マーラー:交響曲第1番《巨人》</p>	808人
5	8月5日(月)	<p>トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 「ジャン・チャクムル ピアノ・リサイタル」 [概要] 日本が誇る世界的なピアノ・コンクールである「浜松国際ピアノ・コンクール」の優勝者によるリサイタルを実施 [出演] ジャン・チャクムル(ピアノ) [演目] ショパン:ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」、J.S.バッハ:イギリス組曲第6番 ニ短調 BWV811、シューベルト:ピアノ・ソナタ第7番 D568、ショパン:24の前奏曲 作品28より、バルトーク:野外にてほか</p>	990人
6	8月12日(月・祝)	<p>ソッリマと100人のチェリストたち [概要] 世界的なチェリスト・作曲家であるジョヴァンニ・ソッリマを中心に、世代、キャリアを超えて100人のチェリストが集う参加企画を実施 [出演] ジョヴァンニ・ソッリマ(チェロ)、エンリコ・メロツツイ(チェロ)、100人のチェリスト(公募) [演目] J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番 プレリュード、ソッリマ:チェロよ、歌え!、メロツツイ:サウンド・オブ・フォーリング・ウォールズ、ピンク・フロイド:アナザー・ブリック・イン・ザ・ウォールほか</p>	1,367人

7	12月22日(日)	トリフォニーホール パイプオルガン クリスマス・コンサート 2019 [概要] 安価で短い公演時間の企画として、クリスマスにちなんだ音楽を中心に実施 [出演] アダム・タバイディ(オルガン)、中須美喜(ソプラノ)、田添菜穂子(司会) [演目] J.S.バッハ:「目覚めよ、と呼ぶ声あり」、J.S.バッハ=グノー:アヴェ・マリア、クリスマスソングに基づく即興演奏、ヴィエルヌ:《幻想的小品集》よりウェストミンスターの鐘ほか	1,553人
8	1月4日(土)	新日本フィル ニューイヤー・コンサート 2020 in すみだ曳舟 [概要] 区北部地域での音楽鑑賞機会を提供するため、前半に落語を加え、気軽にオーケストラを楽しむことができる内容として実施 [出演] 春風亭一朝(落語)、角田鋼亮(指揮)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ロッシーニ:歌劇《ウィリアム・テル》序曲より「スイス軍隊の行進」、J.シュトラウス II:ポルカ・シュネル《雷鳴と電光》、ワルツ《美しく青きドナウ》、外山雄三:管弦楽のためのラプソディーほか	446人
	11月13日(水)	【公演中止】 トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズ 「ピーター・ゼルキン ピアノ・リサイタル」 [概要] 若手から巨匠まで個性的なピアニストをラインナップし実施 [出演] ピーター・ゼルキン(ピアノ) [演目] C.P.E.バッハ:クラヴィーア・ソナタ第3番 ロ短調、ドビュッシー:6つの古代のエピグラフ(独奏版)、ストラヴィンスキー:ピアノ・ソナタ、J.S.バッハ:リュート組曲 ハ短調 BWV997ほか	※ピアニストの健康上の理由による公演中止
	12月28日(土)	【公演中止】 トリフォニーホール「みんなで歌おう<第九>コンサート」 [概要] すみだゆかりの「第九」から第4楽章を、一般参加による客席の大合唱とオーケストラによる音楽納めイベントとして企画 [出演] 松尾葉子(指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラほか [演目] ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付」より第4楽章	※事業規模縮小による公演中止
	3月3日(火)	【公演中止】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 ネマニャ・ラドロヴィッチ&ドゥーブル・サンス [概要] 音楽による平和のメッセージ発信企画として実施する。名曲からコンテンポラリー作品まで多彩なプログラムを企画 [出演] ネマニャ・ラドロヴィッチ(ヴァイオリン)、ドゥーヴル・サンス(弦楽合奏) [演目] ヴィヴァルディ:四季ほか	※事業規模縮小による公演中止
	3月7日(土)	【公演中止】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 ピーター・グレッグソン チェロ・リサイタル [概要] 音楽による平和のメッセージ発信企画として実施する。名曲からコンテンポラリー作品まで多彩なプログラムを企画 [出演] ピーター・グレッグソン(チェロ) [演目] グレッグソン:リコンポーзд・バッハ無伴奏チェロ組曲ほか	※事業規模縮小による公演中止

■その他主催公演

実施日	事業内容	参加者数
6月6日(木)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:一般	[第1回] 21人
		[第2回] 26人
6月21日(金)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:未就学児	[第1回] 14人
		[第2回] 12人
1月6日(月)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:[第1回]車椅子ご利用の方 [第2回]視覚に障がいのある方	[第1回] 1組 1人
		[第2回] 23組 45人

財団と新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

■新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月6日(土)	ファミリーコンサート2019 宮川彬良×新日本フィルハーモニー交響楽団 オケパンIV「ねコンダクター!？」[0歳からのパントマイム★オーケストラ] [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、宮川安利(振付・ダンス)、吉岡朋子(ダンス)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ビゼー:カルメン前奏曲～猫ふんじゃった狂騒曲、ブラームス:ハンガリー舞曲第5番、J.シュトラウスII:ポルカ「雷鳴と電光」、テキーラ、ロッキーのテーマ～燃えよドラゴン～スパイ大作戦～ピンクパンサーのテーマ、アンダーソン:トランペット吹きの日ほか	[第1回] 1,699人 [第2回] 901人
		すみだサマーコンサート2019 —Chance to Play— [出演] 上岡敏之(指揮)、日本大学第一中学・高等学校演劇部(演劇・台本・振付・衣装)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] プロコフィエフ:バレエ音楽『ロメオとジュリエット』組曲より抜粋	955人
3	12月31日(火)	宮川彬良 VS 新日本フィルハーモニー交響楽団 コンチェルト・スーパー 超!ジルベスター・コンサート2019→2020 [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ・司会)、米山浩子(オルガン)、栗友会合唱団(合唱)、栗山文昭(合唱指揮)、横山琢哉(合唱副指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 風と共に去りぬ、荒野の七人、シェルブールの雨傘、なごり雪～いとしのエリー、オネステイ、ウィ・ウィル・ロック・ユー、明日に架ける橋、パトローネージュの歌 2019、宇宙戦艦ヤマト 2202 劇中音楽より、映画「ロッキー」のテーマほか	1,396人
4	1月3日(金)	ニューイヤー・コンサート2020 ～一年の計はお正月にあり～ [出演] 角田鋼亮(指揮)、菅沼希望(NJP コントラバス奏者)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍隊の行進」、ニーノ・ロータ:コントラバスと管弦楽のためのディヴェルティメント、J.シュトラウスII:ワルツ「南国のバラ」、喜歌劇「ヴェネツィアの一夜」序曲、ポルカ・シュネル「雷鳴と電光」、シャンパン・ポルカほか	1,554人

■新日本フィルハーモニー交響楽団との共催公演

ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> (名曲シリーズ)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月26日(金)	第21回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] パスカール・ロフェ(指揮)、アレクセイ・ボロディン(ピアノ)	836人
	4月27日(土)		937人
2	5月17日(金)	第22回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] カルロ・リッツィ(指揮)	836人
	5月18日(土)		822人
3	6月28日(金)	第23回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] 井上道義(指揮)	1,078人
	6月29日(土)		1,505人
4	7月12日(金)	第24回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] ベアトリーチェ・ヴェネツィ(指揮)、吉野直子(ハープ)、池田香織(メゾ・ソプラノ)	1,150人
	7月13日(土)		790人
5	9月27日(金)	第25回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] ミシェル・プラッソン(指揮)、小松亮太(バンドネオン)	1,103人
	9月28日(土)		1,312人
6	10月11日(金)	第26回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] 上岡敏之(指揮)	845人
	10月12日(土)		公演中止 (台風)
7	11月22日(金)	第27回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] キンボー・イシイ(指揮)、山崎伸子(チェロ)	1,013人
	11月23日(土・祝)		1,083人

8	1月24日(金)	第28回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] キース・ロックハート(指揮)、小曾根真(ピアノ)	1,272人
	1月25日(土)		1,603人
9	2月28日(金)	第29回 ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> [出演] 大山平一郎(指揮)、周防亮介(ヴァイオリン)	465人
	2月29日(土)		公演中止 (コロナ)

トパーズ<トリフォニー・シリーズ> (定期演奏会)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月19日(金)	第604回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] ワシリー・シナイスキー(指揮)、宮田大(チェロ)	764人
	4月20日(土)		971人
2	5月31日(金)	第606回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] フィリップ・ヘレヴェッヘ(指揮)、仲道郁代(ピアノ)	951人
	6月1日(土)		1,125人
3	7月19日(金)	第608回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 上岡敏之(指揮)、マリム・パタシヴィリ(ピアノ)	915人
	7月20日(土)		1,306人
4	9月20日(金)	第610回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] ポール・マクレーシュ(指揮)、馬原裕子、相田麻純(ソプラノ)、清水徹太郎(テノール)、栗友会合唱団	737人
	9月21日(土)		878人
5	10月4日(金)	第611回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 上岡敏之(指揮)、吉田珠代(ソプラノ)、藤木大地(カウンターテナー)、鈴木准(テノール)、町英和(バリトン)、東京少年少女合唱隊/東京少年少女合唱隊カンマーコア	989人
	10月5日(土)		1,140人
6	11月8日(金)	第612回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] ニコライ・シェプス=ズナイダー(指揮)、ヨハン・ダールネ(ヴァイオリン)	832人
	11月9日(土)		800人
7	12月6日(金)	第614回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] デイヴィッド・ロバートソン(指揮)、水野均(オルガン)	597人
	12月7日(土)		807人
8	1月17日(金)	第615回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 上岡敏之(指揮)	685人
	1月18日(土)		894人

室内楽シリーズ			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月9日(火)	室内楽シリーズ XV 第123回 「至高のブラス・サウンド～現代の名曲にのせて～」Produced by 佐藤和彦(新日本フィル 首席テューバ奏者)	188人
2	5月15日(水)	室内楽シリーズ XV 第124回 「ブルックナーの弦楽五重奏～憧れと源流を辿って～」Produced by 脇屋冴子(新日本フィル ヴィオラ・フォアシュビラー)	226人
3	6月26日(水)	室内楽シリーズ XV 第125回 「荒川 洋・作品集～バレエ、オペラの世界～」Produced by 荒川 洋(新日本フィル 副首席フルート奏者)	153人
4	7月10日(水)	室内楽シリーズ XV 第126回 「ピアノラ、はじめました」 Produced by 弘田徹(新日本フィル チェロ奏者)	214人
5	9月3日(火)	室内楽シリーズ XVI 第127回 「私のお気に入り～好きな曲、弾きまくります！」 Produced by 川上徹(新日本フィル チェロ・フォアシュビラー)	128人
6	10月9日(水)	室内楽シリーズ XVI 第128回 「ヴィルトゥオーゾへ捧げるオマージュ」 Produced by 崔文洙(新日本フィル ソロ・コンサートマスター)	150人
7	11月20日(水)	室内楽シリーズ XVI 第129回 「新日本フィル・チェロ・アンサンブル チェロの名手たちが遺したチェロ・アンサンブルの世界」 Produced by 長谷川彰子(新日本フィル首席チェロ奏者)	185人

8	1月22日(水)	室内楽シリーズ XVI 第130回 「どこか懐かしい・・・ドヴォルジャーク 心の歌」 Produced by 山田容子新 日本フィル 第1ヴァイオリン・フォアシュピラー)	178人
9	2月26日(水)	室内楽シリーズ XVI 第131回 「兵士の物語」 Produced by 山口尚人(新日本フィル 副首席トロンボーン 奏者)	181人

その他		
実施日	事業内容	入場者数
12月21日(土)	「第九」特別演奏会 2019 [出演] 大友直人(指揮)、砂川涼子(ソプラノ)、加納悦子(アルト)、藤田卓也(テノール)、妻屋秀和(バリトン)、栗友会合唱団、新日本フィルハーモニー交響楽団	1,695人

区内で活動する音楽団体が中心となり、年々、広がりを見せている「すみだストリートジャズフェスティバル」の一会場として活用するほか、大小ホールの特性を活かす多彩な公演を共催として招致し、公演事業の充実を図った。

■共同主催公演

第10回すみだストリートジャズフェスティバル				
実施日	会場	出演団体		入場者数
8月16日(金)	大ホール	1	映画「MARCH」	180人
		2	かをり&かずこ with 立志舎高校演劇同好会	300人
		3	すみジャズカルテット@ランブリング	400人
		4	高木里代子×大村祐里子	850人
		5	寺久保エレナ・カルテット	980人
		6	SEIKO Summer Jazz Camp All Stars	1,200人
		7	日野皓正クインテット	1,300人
	小ホール	8	吉永綾子 with かりんとう	60人
		9	ミネストローネ&ハーモニカワークショップ	70人
		10	小畑亮吾	190人
		11	DON ALMAS	230人
		12	椎名豊 Trio/Special Guest 豊田チカ(Vo)	220人
		13	Vermilion Field	150人
8月17日(土)	大ホール	14	Countermeasure	1,000人
		15	阿川泰子 with 松本峰明トリオ	1,300人
		16	綾戸智恵 with B	1,500人
		17	BIG3トリオ	1,200人
	小ホール	18	陸上自衛隊第1音楽隊	235人
		19	河原井みつる Trio & 音楽お子様ランチワークショップ	100人
		20	Hong Soondal Baramnan Jazz	130人
		21	飯田久美子(Vo)&遠藤征志(P)	150人
		22	Shiho with 宮本貴奈	230人
合計				11,975人

■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月13日(木)	アルフレッド・ハウゼ・タンゴ・オーケストラ [出演] ジャック・パウエル(指揮)、アルフレッド・ハウゼ・タンゴ・オーケストラ	804人

2	6月26日(水)	ベルリン・バロック・ゾリステン with 榎本大進&ジョナサン・ケリー ～ライナー・クスマウル・メモリアル・ツアー2019～ [出演] ベルリン・バロック・ゾリステン、榎本大進(ヴァイオリン)、ジョナサン・ケリー(オーボエ、オーボエ・ダモーレ)、スザンネ・ホプファー・クスマウル(フルート)、ヴィリ・ツインマーマン(ヴァイオリン、コンサートマスター)、ラファエル・アルパーマン(チェンバロ)	1,151人
3	9月21日(土)	シュテファン・ヴラダー ピアノ・リサイタル [出演] シュテファン・ヴラダー(ピアノ)	407人
4	9月29日(日)	ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ 来日公演 2019 [出演] ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ、笙アンサンブル《星篁-Hoshigatami-》	1,084人
5	10月29日(火)	クリスチャン・ヤルヴィ&MDR ライプツィヒ放送交響楽団 [出演] クリスチャン・ヤルヴィ(指揮)、MDR ライプツィヒ放送交響楽団	430人
6	11月2日(土)	ブラック・ダイク・バンド [出演] ニコラス・チャイルズ(音楽監督・指揮)、朝岡聡(司会)、ブラック・ダイク・バンド	1,613人
7	12月1日(日)	辻井伸行 音楽と絵画コンサート《印象派》 [出演] 辻井伸行(ピアノ)	1,748人
8	12月8日(日)	ケルティック・クリスマス 2019 [出演] シャロン・シャノン、ウィ・バンジョー・スリー、タリスク、クリスティン・カー	1,245人
9	12月12日(木)	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2019 きっと、叶う☆ Wish, Hope, Dream [出演] リチャード・カーシー(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN(管弦楽)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)ほか	1,655人
10	12月14日(土)	上原ひろみ JAPAN TOUR 2019 "SPECTRUM" [出演] 上原ひろみ	1,748人
11	12月26日(木)	上原ひろみ JAPAN TOUR 2019 "SPECTRUM" 追加公演 [出演] 上原ひろみ	1,730人
	3月12日(木)	【公演中止】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 Music for Peace 《ベートーヴェン生誕 250 周年》 アルミンク&広島交響楽団 [出演] クリスティアン・アルミンク(指揮)、マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、佐久間聡一(ヴァイオリン)、マーティン・スタンツェライト(チェロ)、森麻季(ソプラノ)、金子美香(メゾ・ソプラノ)、西村悟(テノール)、大西宇宙(バリトン)、栗友会合唱団、広島交響楽団	※新型コロナウイルスの影響により 公演中止
	3月13日(金)	【公演中止】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 マルタ・アルゲリッチ 藤倉 大 そしてヒロシマ [出演] クリスティアン・アルミンク(指揮)、マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、佐久間聡一(ヴァイオリン)、マーティン・スタンツェライト(チェロ)、広島交響楽団	※新型コロナウイルスの影響により 公演中止
	3月15日(日)	【公演延期】 すみだ平和祈念音楽祭 2020 NHK スペシャル 映像の世紀コンサート [出演] 加古隆(ピアノ)、岩村力(指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団、山根基世(ナレーション)	※新型コロナウイルスの影響により 公演延期 (2020年8月8日～延期)
	3月22日(日)	【公演中止】 群馬交響楽団 東京公演 [出演] 大友直人(指揮)、荒井里桜(ヴァイオリン)、群馬交響楽団	※新型コロナウイルスの影響により 公演中止

(2) アウトリーチ事業

新日本フィルハーモニー交響楽団のオーケストラ演奏を地域に届ける「コミュニティ・コンサート」、楽団メンバーによる区立小中学校での音楽指導、福祉施設等での「ふれあいコンサート」など、アウトリーチ活動を以下のとおり実施した。

■ 音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	7月8日(月)	緑小学校	打楽器三重奏	3人	166人

2	7月10日(水)	吾嬬第二中学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	101人
3	9月5日(木)	文花中学校	ヴァイオリン、ハープ	2人	62人
4	9月19日(木)	二葉小学校	ファゴット、ピアノ	2人	207人
5	9月20日(金)	立花吾嬬の森小学校	チューバ、ピアノ	2人	102人
6	9月26日(木)	第二寺島小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	180人
7	10月18日(金)	横川小学校	弦楽四重奏	4人	178人
8	10月19日(土)	第三吾嬬小学校	打楽器三重奏	3人	170人
9	10月28日(月)	錦糸小学校	フルート、ファゴット、ピアノ	3人	86人
10	11月5日(火)	両国中学校	フルート、ファゴット、ピアノ	3人	213人
11	11月15日(金)	本所中学校	ヴァイオリン、ティンパニ、打楽器	3人	162人
12	11月19日(火)	寺島中学校	ホルン、トロンボーン、チューバ	3人	126人
13	12月2日(月)	東吾嬬小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	118人
14	12月3日(火)	中川小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	181人
15	12月5日(木)	文花中学校(夜間学級)	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	51人
16	12月9日(月)	第三寺島小学校	クラリネット、ピアノ	2人	123人
17	12月11日(水)	柳島小学校	トランペット2、ピアノ	3人	164人
18	12月12日(木)	中和小学校	クラリネット、ピアノ	2人	114人
19	12月13日(金)	言問小学校	トランペット2、ピアノ	3人	96人
20	12月16日(月)	曳舟小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	132人
21	12月18日(水)	八広小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	181人
22	12月19日(木)	両国小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	139人
23	12月20日(金)	押上小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	153人
24	12月23日(月)	第一寺島小学校	ファゴット、ピアノ	2人	153人
25	1月16日(木)	菊川小学校	金管五重奏	5人	117人
26	1月20日(月)	第四吾嬬小学校	トランペット、ホルン、打楽器、ピアノ	4人	175人
27	1月21日(火)	吾嬬立花中学校	トランペット、ホルン、打楽器、ピアノ	4人	151人
28	1月23日(木)	梅若小学校	弦楽四重奏	4人	88人
29	2月18日(火)	外手小学校	打楽器2、ピアノ	3人	138人
30	2月25日(火)	業平小学校	チェロ、ピアノ	2人	84人
31	2月26日(水)	小梅小学校	チューバ、ピアノ	2人	116人
32	2月27日(木)	隅田小学校	トランペット2、ピアノ	3人	90人
	3月5日(木)	堅川中学校	ホルン、トロンボーン、チューバ	※新型コロナウイルスによる影響により中止	
	3月6日(金)	桜堤中学校	ヴァイオリン、ピアノ	※新型コロナウイルスによる影響により中止	
	3月12日(木)	錦糸中学校	ヴィオラ、フルート、ピアノ	※新型コロナウイルスによる影響により中止	
	3月13日(金)	墨田中学校	ヴァイオリン、チェロ	※新型コロナウイルスによる影響により中止	
合計				90人	4,317人

■コミュニティ・コンサート

実施日	会場	内 容	入場者数
10月20日(日)	中和小学校	[出演] 中田延亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、鈴木崇弘(新日本フィル バス・トロンボーン奏者)	429人
		[演目] モーツァルト: 歌劇《魔的》序曲、ラッセン: 2つの幻想的小品、ワーグナー: 楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より第1幕への前奏曲ほか	233人

■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内 容	出演者数	観客数
1	7月16日(火)	墨田区役所アトリウム	弦楽四重奏	4人	105人
2	9月13日(金)	亀沢のぞみの家	ヴァイオリン、コントラバス、打楽器	3人	58人
3	9月23日(月・祝)	すみだ福祉保健センター	ヴァイオリン、ハーブ	2人	45人
4	10月7日(月)	シルバープラザ梅若	弦楽四重奏	4人	171人
5	10月25日(金)	本所保健センター	ヴァイオリン、ヴァイオラ、チェロ	3人	25人
6	12月24日(火)	喜楽里すみだ工房	弦楽四重奏	4人	110人
7	12月27日(金)	墨田さんさんプラザ	弦楽四重奏	4人	70人
8	1月21日(火)	すみだふれあいセンター	ホルン、トランペット	2人	58人
9	2月10日(月)	曳舟文化センター	ヴァイオリン、ヴァイオラ、ファゴット ピアノ	4人	110人
10	2月13日(木)	トリフォニーホール 小ホール	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	140人
11	2月16日(日)	東駒形コミュニティ会館	ヴァイオリン、ピアノ	2人	213人
12	2月29日(土)	スマイルアーチ	ヴァイオラ、チェロ、コントラバス、クラリネット、打楽器	5人	32人
13	3月13日(金)	とらいあんぐる墨田作業所	弦楽四重奏	4人	17人
14	3月19日(木)	とらいあんぐるすみだ花工房	ヴァイオリン、ヴァイオラ、チェロ、打楽器	4人	23人
	2月27日(木)	横川コミュニティ会館	チェロ、クラリネット、打楽器		※新型コロナウイルスによる影響により中止
	3月10日(火)	墨田区役所アトリウム			※新型コロナウイルスによる影響により中止
	3月14日(土)	なりひらホーム			※新型コロナウイルスによる影響により中止
	3月16日(月)	ワクワク工房デイサービス	ヴァイオラ、ピアノ		※新型コロナウイルスによる影響により中止
合計				48人	1,177人

2 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するべく、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な練習と公演を実施するほか、区内の音楽団体が集う「すみだ音楽祭」を開催した。

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	会場	入場者数
1	8月1日(木)	夏休みオーケストラ・コンサート(第28回演奏会) [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮・お話)、中須美喜(ソプラノ)、大平倍大(テノール)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ [演目] オッフエンバック: 喜歌劇《天国と地獄》より序曲、ケテルビー: ペルシャの市場にて、フニクリ・フニクラ、モーツァルト: オペラ《魔笛》より「夜の女王のアリア」、シベリウス: フィンランディア、ディズニー・メドレー、ムソルグスキー: 交響詩《はげ山の一夜》、ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」第4楽章	トリフォニーホール 大ホール	489人

2	8月2日(金)	<p>赤ちゃんも障がいのある方も未就学児も… みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」</p> <p>[出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮・お話)、中須美喜(ソプラノ)、大平倍大(テノール)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ</p> <p>[演目] チャイコフスキー:オペラ《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」、ケテルビー:ペルシャの市場にて、ビゼー:オペラ《カルメン》より「前奏曲」、オッフエンバック:喜歌劇《天国と地獄》より「カンカン」、みんなで歌おう(フニクリ・フニクラ、さんぽ)、ディズニーメドレー、シベリウス:フィンランディア、ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」第4楽章</p>	トリフォニーホール 大ホール	1,384人
3	8月18日(日) 【演奏旅行8月16日(金)～19日(月)】	<p>ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2019 in HAMAMATSU ～公立ジュニアオーケストラ7団体による交流演奏会～</p> <p>[出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ</p> <p>[演目] ムソルグスキー:交響詩《はげ山の一夜》、ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」第4楽章</p>	アクトシティ浜松 大ホール	797人
4	10月20日(日)	<p>第39回 墨田区障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会</p> <p>[出演] トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ プラス・アンサンブル(吹奏楽)</p>	墨田区 総合体育館	約400人
5	10月27日(日)	<p>トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 「学校コンサート in 両国小」</p> <p>[出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮・お話)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ</p> <p>[演目] ビゼー:オペラ《カルメン》前奏曲、チャイコフスキー:オペラ《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」、ディズニーメドレー、グリーグ:劇付随音楽《ペール・ギュント》より「朝」「山の魔王の宮殿にて」、ベートーヴェン:交響曲第9番 第4楽章より、オッフエンバック:喜歌劇《天国と地獄》序曲より「カンカン」、シベリウス:フィンランディア</p>	両国小学校	約250人
	3月29日(日)	<p>【公演中止】 第29回演奏会</p> <p>[出演] 松尾葉子(指揮)、居福健太郎(ピアノ)、松原みなみ(ソプラノ)、堺裕馬(バリトン)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ</p> <p>[演目] リスト:交響詩《前奏曲》S.97、グリーグ:ピアノ協奏曲、劇付随音楽《ペール・ギュント》より</p>	トリフォニーホール 大ホール	※新型コロナウイルスの影響により公演中止

(2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭」の実施

実施日	施設	出演団体		入場者数
8月18日(日)	大ホール	1	STP JAZZ FUNK ORCHESTRA	800人
		2	ジロー吉田とブルーハーバー・ジャズ・オーケストラ	650人
		3	Big Boss Soundmarket	500人
		4	ファイアーバード・ジャズオーケストラ	400人
		5	ハイファイフ・ジャズオーケストラ	200人
		6	スウィングライツ・ジャズオーケストラ	250人
	小ホール	7	東京ベートーヴェンクライス	140人
		8	コール・ドルチェ	240人
		9	コンセール・リヴィエール	100人
		10	バルカ・ヴォーチェ&向島混声合唱団	170人
		11	立花吾嬬の森女声合唱団&IPCC合唱団	130人
		12	グリーン・グリーンコーラス	200人

8月24日(土)	大ホール	13	淡交フィルハーモニー管弦楽団	200人	
		14	墨田シルバーアンサンブル	1,100人	
		15	すみだマンドリンクラブ	800人	
		16	東京都立本所高等学校ブラスバンド部	250人	
		17	日本大学第一中学・高等学校 音楽部	200人	
		18	AZUMA 吹奏楽団&白鳩太鼓&viva! 083	200人	
		19	墨田区吹奏楽団	200人	
		小ホール	20	合唱団 橘	140人
			21	淡交混声合唱団	90人
22	コスモス		110人		
23	すみだオペラ合唱団		100人		
24	コール・アミーガ		170人		
25	すみださくら歌劇団		70人		
8月25日(日)	大ホール		26	すみだ少年少女合唱団&Chor June	1,000人
		27	女声合唱団シューベルト・コア	1,350人	
		28	すみだ男声合唱団	450人	
		29	隅田川合唱団	250人	
		30	ブルーメンコール	230人	
		小ホール	31	くらふる	70人
32	立志舎高校吹奏楽部		100人		
33	墨田区交響楽団		85人		
34	両国高校ジャズ研究部		110人		
合 計				11,055人	

3 公演情報等の集配業務

当ホールの存在感を高めるため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS等を中心に発信した。

なお、トリフォニーホール友の会については、平成28年度末で廃止し、平成29年度からトリフォニーホール・チケットメンバーズで一本化を図っている。

(1) 年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

(2) 会員数の推移

年度	会員数割合	合計	墨田区	江東区	葛飾区	江戸川区	その他23区	23区以外都内	千葉県	神奈川県	埼玉県	茨城県	その他の県
元年度	会員数	20,196	1,767	800	349	499	5,687	1,596	3,001	2,373	1,659	371	2,094
	割合	100%	8.8%	4.0%	1.7%	2.5%	28.0%	7.9%	14.9%	11.8%	8.2%	1.8%	10.4%
30年度	会員数	17,838	1,512	696	310	450	4,972	1,434	2,641	2,146	1,480	335	1,862
	割合	100%	8.6%	3.9%	1.7%	2.5%	27.9%	8.0%	14.8%	12.0%	8.3%	1.9%	10.4%
29年度	会員数	14,867	1,263	580	258	385	4,058	1,206	2,273	1,793	1,284	284	1,483
	割合	100%	8.5%	3.9%	1.7%	2.6%	27.3%	8.1%	15.3%	12.1%	8.6%	1.9%	10%

4 施設の利用及び維持管理に関する業務

(1) 施設利用実績

大ホール (1,801 席)	元年度	30 年度	29 年度	小ホール (252 席)	元年度	30 年度	29 年度
利用可能日数	310	302	312	利用可能日数	298	298	310
利用不可日数	56	63	53	利用不可日数	68	67	55
利用日数	273	299	311	利用日数	272	293	305
本番公演数	166	183	188	本番公演数	257	280	293
新日本フィル	42	46	43	新日本フィル	9	8	9
財団	24	34	40	財団	4	14	17
一般	100	103	105	一般	244	258	267
日数利用率	88%	99%	99%	日数利用率	91%	98%	98%
利用可能区分数 (3 区分)	856	846	872	利用可能区分数 (3 区分)	816	820	859
利用区分数 (3 区分)	665	739	770	利用区分数 (3 区分)	654	726	759
新日本フィル	308	319	320	新日本フィル	37	42	39
財団	135	181	201	財団	22	58	70
一般	222	239	249	一般	595	626	650
区分利用率	78%	87%	88%	区分利用率	80%	89%	88%

練習室 1 (87.2 m ²)	元年度	30 年度	29 年度
利用可能日数	300	312	315
利用不可日数	66	54	53
利用日数	251	291	291
日数利用率	84%	93%	92%
利用可能区分数 (3 区分)	688	756	743
利用区分数 (3 区分)	443	606	542
区分利用率	64%	80%	73%

練習室 2 (20.7 m ²)	元年度	30 年度	29 年度
利用可能日数	302	299	298
利用不可日数	64	66	67
利用日数	283	294	290
日数利用率	94%	98%	97%
利用可能区分数 (3 区分)	689	715	686
利用区分数 (3 区分)	550	618	608
区分利用率	80%	86%	89%

練習室 3 (17.7 m ²)	元年度	30 年度	29 年度
利用可能日数	301	302	298
利用不可日数	65	65	67
利用日数	286	292	289
日数利用率	95%	97%	97%
利用可能区分数 (3 区分)	691	716	698
利用区分数 (3 区分)	562	615	585
区分利用率	81%	86%	84%

(2) パイプオルガン利用実績

	元年度	30 年度	29 年度
本番利用	29 回	33 回	39 回
レジスト及び リハーサル利用	38 回	41 回	44 回
合 計	67 回	74 回	83 回

※新型コロナウイルスの影響による自粛要請期間中も利用可能日数・区分数等を含む。

(3) 公演実施状況 (ジャンル別)

大ホール(1,801 席) ジャンル	元年度		30 年度		29 年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	113	68.1%	122	66.6%	127	67.5%
オーケストラ	97	58.4%	103	56.3%	103	54.8%
新日本フィル	44	26.5%	46	25.1%	45	23.9%
その他(プロ)	4	2.4%	5	2.7%	6	3.2%
その他(アマ)	49	29.5%	52	28.5%	52	27.7%
室内楽・器楽	4	2.4%	5	2.7%	3	1.6%
ピアノ	5	3.0%	5	2.7%	7	3.7%
オルガン	7	4.2%	9	4.9%	13	6.9%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
声 楽	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
現代音楽	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%
合 唱	17	10.2%	17	9.3%	19	10.1%
吹奏楽	4	2.4%	7	3.9%	5	2.7%
ジャズ・ポップス	8	4.8%	10	5.5%	8	4.3%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
邦楽	0	0.0%	4	2.2%	0	0.0%
演芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	24	14.5%	22	12.0%	28	14.9%
合 計	166	100%	183	100%	188	100%
入場者数	181,663		193,327		201,697	
平均入場者数	1,094		1,056		1,073	

小ホール(252 席) ジャンル	元年度		30 年度		29 年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	159	61.8%	148	52.9%	162	55.3%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	100	38.9%	75	26.8%	70	23.9%
ピアノ	24	9.3%	39	13.9%	37	12.7%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	4	1.6%	3	1.1%	3	1.0%
声 楽	31	12.0%	31	11.1%	52	17.7%
現代音楽	4	1.6%	11	3.9%	7	2.4%
合 唱	13	5.1%	11	3.9%	19	6.5%
吹奏楽	2	0.8%	1	0.3%	0	0.0%
ジャズ・ポップス	4	1.6%	4	1.5%	7	2.4%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	40	15.6%	54	19.3%	45	15.4%
コンクール	9	3.5%	10	3.5%	14	4.8%
邦楽	10	3.9%	13	4.6%	12	4.0%
演芸	3	1.1%	4	1.5%	0	0.0%
その他	13	5.0%	24	8.6%	27	9.2%
合 計	257	100%	280	100%	293	100%
入場者数	34,271		37,574		36,485	
平均入場者数	133		134		125	

Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、作品収集に貢献した。区の求めに応じて候補資料の調査から収集まで全面的に協力を行うとともに、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

(1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価員会の運営に協力した。

また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。寄託作品も多数受け入れることとなり、今後の展覧会企画につなげることができた。

(2) 資料保管

資料を安全に維持保存するため、館内の環境整備及び資料の修復を行った。

- ・環境整備: 虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。
- ・資料修復: 肉筆 8 点の修復を実施した。
- ・燻 蒸: 令和元年 10 月 9 日から 10 月 18 日にかけて燻蒸作業を実施した。
- ・学術研究等のための資料の撮影又は熟覧: 実施なし。
- ・資料の貸出状況:
(作品貸出)
 - ・小布施北斎館「すみだ北斎美術館名品展」へ 236 点の貸出
 - ・「芸術新潮」掲載分撮影のため 3 点の複製画貸出
 - ・小布施北斎館へ 2 点の複製画貸出
 - ・「文藝春秋」撮影のため 6 点の複製画貸出
 - ・キャノンギャラリーへ 1 点の複製画貸出
- (作品借用)
 - ・「茂木本家美術館の北斎名品展」のため、茂木本家美術館より 116 点の作品借用
 - ・「北斎視覚のマジック 小布施・北斎館名品展」のため、北斎館より 137 点の作品借用

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信することができた。

3 展示事業

年間を通した調査研究の成果を反映させ、話題性と魅力に富む展示、講座やイベントなどの関連企画や教育普及活動との連動により、集客も意識した展示活動を行った。

(1) 常設展示の実施

4 階の常設展示室では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料展示を行っている。これら資料の一部展示替えを行った。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため臨時休館: 令和 2 年 2 月 29 日～3 月 19 日

・観覧料:一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円

・常設展示の観覧者数

(単位:人)

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	ぐるっとパス	計
常設展示のみ	16,614	2,706	6,722	2,520	1,312	913	76	607	3,973	35,443
企画展示と同時観覧	63,127	7,661	21,462	1,859	3,277	4,040	2,187	17,978		121,591
計	79,741	10,367	28,184	4,379	4,589	4,953	2,263	18,585	3,973	157,034

・常設展示のみの観覧料収入

(単位:円)

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	計
個人	5,947,920	717,180	1,523,100	8,188,200
前売(個人)	800	0	0	800
団体	446,080	61,680	362,160	869,920
計	6,394,800	778,860	1,885,260	9,058,920

常設展のみの 1 日平均 (会期:294 日)	
観覧者数	121 人
観覧料収入	30,813 円

(2) 企画展示の実施

企画展示では、北斎とその門人の展示を基本としながら、北斎の偉業を幅広くとらえる多角的な内容で、利用者目線に立った展示方法に取り組むとともに、他館や他社と連携した展示にも積極的に取り組んだ。

また、昨年度に引き続き「常設展プラス」を 2 回実施した。

研究成果の発表や展覧会の記録を目的とするとともに来館者サービスの一環として、図録及びリーフレット等を作成し販売した。さらに、次年度以降の重要文化財の借用展示について作業を行った。

■会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数	1 日平均
			観覧料収入	1 日平均
1	北斎アニマルズ	4 月 1 日～4 月 7 日 (6 日間)	3,717 人 2,806,180 円	620 人 467,697 円
2	北斎のなりわい大図鑑	4 月 23 日～6 月 9 日 (44 日間)	23,467 人 17,087,440 円	533 人 388,351 円
3	「綴プロジェクト」－高精細複製画で綴る－スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展	6 月 25 日～8 月 25 日 (54 日間)	29,134 人 19,406,280 円	540 人 359,376 円
4	北斎没後 170 年記念 茂木本家美術館の北斎名品展	9 月 10 日～11 月 4 日 (49 日間)	24,467 人 19,747,770 円	499 人 403,016 円
5	北斎没後 170 年記念 北斎視覚のマジック 小布施・北斎館名品展	11 月 19 日～1 月 19 日 (51 日間)	26,201 人 22,205,810 円	514 人 435,408 円
6	北斎師弟対決!	2 月 4 日～3 月 31 日 2 月 29 日～3 月 19 日臨時休館 (32 日間)	7,896 人 5,624,860 円	247 人 175,777 円
企画展合計 (常設展プラス除く)		会期:236 日	114,882 人 86,878,340 円	487 人 368,129 円
7	常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画	4 月 1 日～6 月 9 日 2 月 4 日～3 月 31 日 2 月 29 日～3 月 19 日臨時休館 (94 日間)	6,709 人 4,126,040 円	71 人 43,894 円

■各展覧会の実施概要

① 北斎アニマルズ

- ・開催期間：平成31年4月1日(月)から平成31年4月7日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円
- ・観覧者数(4月1日～7日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	2,184	162	644	54	114	148	66	188	3,560
団体	60	41	56	0	0	0			157
計	2,244	203	700	54	114	148	66	188	3,717

- ・観覧料収入(4月1日～7日)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	2,087,600	109,340	438,760	15,540	32,220	2,683,460
前売(個人)	17,000	700	2,100	600	0	20,400
団体	48,000	22,960	31,360	0	0	102,320
計	2,152,600	133,000	472,220	16,140	32,220	2,806,180

② 北斎のなりわい大図鑑

- ・展示概要：北斎の新出の肉筆画「蜆売り図」をはじめ、館蔵品から北斎一門による江戸の生業が描かれた作品を展示した。また働く人々に向けられた北斎のまなごしをわかりやすく紹介し、江戸の生業を理解いただく一助となるよう工夫した。
- ・開催期間：平成31年4月23日(火)から令和元年6月9日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円
- ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	12,366	1,086	4,179	230	675	531	346	3,522	22,929
団体	188	55	268	0	0	21			532
計	12,548	1,141	4,447	230	675	552	346	3,522	23,461

- ・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	11,982,400	747,040	2,865,240	68,040	199,260	15,861,980
前売(個人)	875,280	560	17,080	240	1,020	894,180
団体	150,400	30,800	150,080	0	0	331,280
計	13,008,080	778,400	3,032,400	68,280	200,280	17,087,440

③ 「綴プロジェクト」ー高精細複製画で綴るースミソニアン協会フリーア美術館の北斎展

- ・展示概要：キヤノン株式会社の最新技術と京都伝統工芸の技を駆使した「綴プロジェクト」によって制作されたアメリカ・フリーア美術館の北斎作品の高精細複製品、ならびに関連する館蔵品を展示した。また当館学芸員の北斎に関する研究成果もともに紹介した意義深い展覧会となった。
- ・開催期間：令和元年6月25日(火)から令和元年8月25日(日)まで
- ・開催施設：4階、3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	14,073	2,389	3,795	835	646	1,165	410	5,217	28,530
団体	153	195	121	48	0	87			604
計	14,226	2,584	3,916	883	646	1,252	410	5,217	29,134

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	13,576,000	1,642,340	2,563,260	244,920	190,800	18,217,320
前売(個人)	825,320	5,180	45,780	1,800	0	878,080
団体	122,400	109,200	67,760	11,520	0	310,880
計	14,523,720	1,756,720	2,676,800	258,240	190,800	19,406,280

④ 北斎没後 170 年記念 茂木本家美術館の北斎名品展

- ・展示概要: キッコーマン株式会社創業家の茂木本家美術館のコレクションから「富嶽三十六景」をはじめ北斎の有名なシリーズ、北斎一門および関係作品を展示した。館外初の本格的なコレクション紹介であり、「青富士」の通称で知られる「富嶽三十六景 凱風快晴」の藍摺版も当館学芸員の研究成果とともに紹介し話題となった。また本展図録は、販売分が会期中ほぼ完売となった。
- ・開催期間: 令和元年 9 月 10 日(火)から令和元年 11 月 4 日(月・休日)まで
- ・開催施設: 4 階、3 階企画展示室
- ・観覧料: 一般 1,200 円、高大生・65 歳以上 900 円、中学生・障がい者 400 円
- ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	11,836	1,288	4,215	138	517	589	505	4,061	23,149
団体	288	46	565	23	28	368			1,318
計	12,124	1,334	4,780	161	545	957	505	4,061	24,467

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	12,951,120	1,047,420	3,417,840	50,960	190,000	17,657,340
前売(個人)	1,255,410	7,920	91,980	800	1,600	1,357,710
団体	276,480	33,120	406,800	7,360	8,960	732,720
計	14,483,010	1,088,460	3,916,620	59,120	200,560	19,747,770

⑤ 北斎没後 170 年記念 北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品展

- ・展示概要: 小布施の北斎館が所蔵する北斎作品を中心とした肉筆画や「富嶽三十六景」シリーズなどの名品を展示した。北斎館との交換展として、9 月 14 日(土)から 11 月 10 日(日)までは、北斎館でピーターモースコレクションを中心としたすみだ北斎美術館所蔵品展を開催し、北斎の個人顕彰美術館の交流をより一層深め、周知した展覧会となった。
- ・開催期間: 令和元年 11 月 19 日(火)から令和 2 年 1 月 19 日(日)まで
- ・開催施設: 4 階、3 階企画展示室
- ・観覧料: 一般 1,200 円、高大生・65 歳以上 900 円、中学生・障がい者 400 円
- ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	12,965	1,151	4,878	186	932	578	610	4,242	25,542
団体	303	106	184	13	0	53			659
計	13,268	1,257	5,062	199	932	631	610	4,242	26,201

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	14,628,000	1,004,760	4,179,600	71,760	364,880	20,249,000
前売(個人)	1,326,430	10,980	111,960	1,920	1,680	1,452,970
団体	290,880	76,320	132,480	4,160	0	503,840
計	16,245,310	1,092,060	4,424,040	77,840	366,560	22,205,810

⑥ 北斎師弟対決！

- ・展示概要：北斎と弟子が同じテーマで描いた作品を館蔵品より展示し、両者を比較する中でそれぞれの画風の特徴や影響関係を明らかにした。北斎の魅力にとどまらず、従来師匠の名の影に隠れていた弟子の作品の魅力も紹介する展覧会となった。

- ・開催期間：令和2年2月4日(火)から令和元2年4月5日(日)まで
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため臨時休館：令和2年2月29日～3月19日

- ・開催施設：3階企画展示室

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

- ・観覧者数(2月4日～3月31日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	4,388	633	1,061	52	217	249	230	704	7,534
団体	3	30	26	153	0	150			362
計	4,391	663	1,087	205	217	399	230	704	7,896

- ・観覧料収入(2月4日～3月31日)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,194,000	425,040	715,680	15,540	63,900	5,414,160
前売(個人)	105,400	5,600	27,720	540	960	140,220
団体	2,400	16,800	14,560	36,720	0	70,480
計	4,301,800	447,440	757,960	52,800	64,860	5,624,860

⑦ 常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・開催期間：平成31年4月2日(日)から令和元年6月9日(日)まで
令和2年2月4日(火)から令和2年3月31日(火)まで
臨時休館：令和2年2月29日(土)～3月19日(木)

- ・開催施設：4階企画展示室

- ・観覧料：一般700円、高大生・65歳以上600円、中学生・障がい者200円

- ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	4,173	459	1,407	127	138	101	20	44	6,469
団体	147	20	63	0	10	0			240
計	4,320	479	1,470	127	148	101	20	44	6,709

- ・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	2,857,400	263,880	829,320	23,200	28,480	4,002,280
団体	82,320	9,600	30,240	0	1,600	123,760
計	2,939,720	273,480	859,560	23,200	30,080	4,126,040

4 教育普及事業

北斎や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本としながら、美術館活動への理解と地域や郷土を愛し誇りとする心を育むことを主眼に、対象者の層に応じた多岐にわたる教育普及活動を行った。館内での活動だけでなく教育機関との連携等、館外での取組みにも注力して行った。

(1) 館に親しみを持つ層の拡大

展覧会にあわせた講演やワークショップ等を行うとともに、展示替えの期間も来館を促すよう、魅力的で多彩なイベントを行った。また、外国人観光客や障がいのある方々も北斎と美術館に親しみを持てるよう、多言語による解説や鑑賞方法などを工夫した。

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者
講演会	「江戸の町と庶民のなりわい」 (講師：中川船番所資料館学芸員 久染健夫)	5/11 (土)	講座室	46人
	「北斎の肉筆画」(講師：フリーア美術館学芸員 フランク・フェルテンズ)	6/29 (土)	講座室	85人
	「茂木本家美術館についてー美術館の概要とそのコレクションー」(茂木本家美術館館長 茂木潤一)	10/22 (火・祝)	講座室	47人
	「北斎と小布施、そして北斎館の名品」(北斎館館長 安村敏信)	12/7 (土)	講座室	44人
	「天才葛飾北斎論ーその芸術と奇想と美ー」饒舌館長口演ず(講師：静嘉堂文庫美術館館長 河野元昭)	2/8 (土)	講座室	54人
スライド トーク	「北斎のなりわい大図鑑展の見どころ」	5/4 (土・祝)	講座室	59人
		5/25 (土)		45人
	「高精細複製画で綴る フリーア美術館の北斎展のみどころ」	7/6 (土)		39人
		8/3 (土)		36人
	「北斎没後170年記念 茂木本家美術館の北斎名品展のみどころ」	9/14 (土)		39人
		10/26 (土)		34人
「北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品展の見どころ」	12/15 (日)	55人		
	1/11 (土)	70人		
ワーク ショップ	5 minutes workshop 「すみだ北斎 どうぶつえん! 『北斎アニマルズ』で美術館オリジナルの動物園をつくろう」	4/2(火)～ 4/7(日)	3階 ホワイエ	参加者計 300人
	和綴じ本をつくろう	4/27 (土)	講座室	19人
	茶で旅する北斎の東海道	5/2 (木)	講座室	100人
	お茶席体験 Tea Ceremony with Hokusai!	8/8 (木)	講座室	70人
		8/12 (土・祝)		81人
		8/15 (木)		78人
		8/18 (日)		84人
	きったり、はったり、えがいたり びょうぶづくり!	8/10 (土)	講座室	12人
	じっくり日本美術	8/17 (土)	講座室	16人
		11/24 (日)		8人
	「別摺りってなんだ?」	10/5 (土)	講座室	11人
	「多色摺り木版画の羽子板づくり」	12/21 (土)	講座室	20人
	5 minutes workshop 「めでたい! 北斎年賀状づくり」	1/2 (木・休) 1/3 (金・休)	講座室	計89人
5 minutes workshop 「北斎師弟対決! 弟子になって描いてみよう!」	2/4 (火)～ 2/28 (金)	3階 ホワイエ	※自由参加のため不明	
たてものツアー	「すみだ北斎美術館 たてものツアー」 (講師：妹島和世建築事務所 福原光太)	1/25 (土)	館内 講座室	13人
作品解説	「北斎について」 (明治大学クールジャパンサマープログラム)	7/24 (水)	講座室	24人

	「北斎について」(NPO 法人社会総合研究所)	9/28 (土)	講座室	38 人
美術館紹介	「すみだ北斎美術館について」 (佐賀大学芸術地域デザイン学部)	9/16 (月・祝)	講座室	16 人
	「美術館について」(BNL Bank Italy Group)	11/21 (木)	講座室	102 人
	「美術館の教育普及事業について」 (筑波大学芸術支援学演習)	11/23 (土)	会議室	8 人
その他	ポーランドの写真家によるアーティスト・トーク	5/22 (水)	講座室	20 人

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を得る講座や、北斎を学び体験する授業等、校種や学年に応じた多彩なプログラムを実施した。美術館における学校の団体利用に際しては、学芸員や教育普及担当等による講義や解説を行った。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
美術館紹介	「北斎について」(桑名市立陵成中学校 3 年生)	5/31 (金)	常設展示室	6 人
	「美術館について」(八王子市立別所中学校 2 年生)	10/24 (木)	4 階ホワイエ	5 人
	「職場訪問」(杉並区立天沼中学校 2 年生)	10/30 (水)	講座室	5 人
	「常設展示について」(墨田区立堅川中学校 1 年生)	1/23 (木)	講座室	124 人
作品解説	「作品解説・ワークショップ」(羽島市立羽島中学校 3 年生)	5/22 (水)	講座室	37 人
	「作品解説・アートカード」(墨田区立曳舟小学校 3 年生)	6/25 (火)	講座室	80 人
	「北斎とすみだについて」(全国歴史教育研究会) ※全国の小中高の教員の団体	7/26 (金)	講座室	39 人
	「北斎について」(墨田区立両国小学校 6 年生)	9/11 (水)	講座室	93 人
	「北斎について・アートカード」(墨田区立押上小学校 3 年生)	11/1 (金)	講座室	74 人
	「北斎について・ワークショップ」(第一薬科大学付属高等学校)	11/27 (水)	講座室	30 人
	「作品解説・ワークショップ」(東京表現高等学院 MIICA)	1/28 (火)	講座室	30 人
	「作品解説・アートカード」(墨田区立柳島小学校 3 年生)	2/7 (金)	講座室	80 人
	「作品解説・アートカード」(墨田区立中和小学校 3 年生)	2/14 (金)	講座室	60 人
	「作品解説・ワークショップ」(南アルプス子どもの村小学校)	2/18 (火)	講座室	23 人
出前授業	「アートカードで展覧会をつくる」(都立大江戸高校)	7/5 (金)	都立大江戸高校	22 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立両国小学校 6 年生)	9/3 (火)	両国小学校	62 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立両国小学校 6 年生)	9/4 (水)	両国小学校	31 人
	「すみだと北斎 (調べ学習)」(墨田区立二葉小学校 3 年生)	9/25 (水)	二葉小学校	116 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立第二寺島小学校 3 年生)	9/27 (金)	第二寺島小学校	83 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立小梅小学校 3 年生)	9/28 (土)	小梅小学校	58 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立中和小学校 3 年生)	10/18 (金)	中和小学校	57 人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立柳島小学校 3 年生)	1/29 (水)	柳島小学校	80 人
「北斎の絵を描こう！」(墨田区立第四吾嬬小学校 3 年生)	2/13 (木)	第四吾嬬小学校	36 人	

・墨田区立小中学校の団体鑑賞

来館日	学校名 (学年)	来館児童 生徒数	鑑賞展示	備 考
6/25 (火)	曳舟小学校 (3年生)	78人	常設展	※講座室で作品解説実施
6/27 (木)	言問小学校 (3年生)	50人	常設展・企画展	
6/28 (金)	二葉小学校 (3年生)	37人	常設展	
9/11 (水)	両国小学校 (6年生)	93人	常設展・企画展	※講座室で作品解説実施
10/10 (木)	東吾嬬小学校 (3年生)	57人	常設展・企画展	
10/18 (金)	第二寺島小学校 (3年生)	83人	常設展・企画展	
10/24 (木)	隅田小学校 (3年生)	95人	常設展・企画展	
10/29 (火)	横川小学校 (3年生)	83人	常設展・企画展	
10/31 (木)	寺島中学校 (1年生)	126人	常設展	
11/1 (金)	押上小学校 (3年生)	74人	常設展・企画展	※講座室で作品解説実施
11/7 (木)	小梅小学校 (3年生)	58人	常設展	
11/22 (金)	立花吾嬬の森小学校 (3年生)	51人	常設展	
11/30 (土)	錦糸中学校 (1年生)	62人	常設展	
12/4 (水)	両国中学校 (1年生)	213人	常設展	
12/12 (木)	第三寺島小学校 (3年生)	54人	常設展・企画展	
12/20 (金)	本所中学校 (1年生)	51人	常設展・企画展	※希望者のみ企画展鑑賞
1/16 (木)	両国中学校 (1年生)	18人	常設展・企画展	※希望者のみ企画展鑑賞
1/23 (木)	竪川中学校 (1年生)	111人	常設展	
1/29 (水)	吾嬬第二中学校 (1年生)	110人	常設展	
2/4 (火)	梅若小学校 (3年生)	39人	常設展・企画展	
2/6 (木)	墨田中学校 (1年生)	157人	常設展	
2/7 (金)	柳島小学校 (3年生)	79人	常設展	※講座室で作品解説実施
2/12 (水)	中和小学校 (特別支援学級)	8人	常設展・企画展	
2/13 (木)	桜堤中学校 (1年生)	160人	常設展・企画展	
2/14 (金)	中和小学校 (3年生)	57人	常設展・企画展	※講座室で作品解説実施
2/18 (火)	第四吾嬬小学校 (3年生)	37人	常設展・企画展	
年度累計数	小学校 17校 中学校 9校 計 26校	小学生 1,033人 中学生 1,008人 計 2,041人		

(3) 地域との結びつきを深める取組み

墨田区の文化振興事業と連携して、美術館を地域の文化活動の拠点として活用するような取組みを推進した。「すみゆめ」などのアートプロジェクトや、地元団体等と協力することで、地域の活性化につながる活動を展開した。

事業名	事業内容等	実施日	会 場	参加者
イベント	「第44回すみだまつり・第49回こどもまつり」 会場でワークショップを実施 (内容)「オリジナル缶バッジづくり」 「北斎版画スタンプ体験」	10/5 (土) 10/6 (日)	錦糸公園	2,184人
	「北斎祭り」実行委員会に参加し実施に協力	10/5 (土) 10/19 (土)	講座室、緑町公園、大横川 親水公園、北斎通り	

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として所蔵資料の情報を適切に整理し、子どもから研究者まで多様な利用者の興味関心に応えられるよう、開架と閉架を併用したサービスを行った。開架では手に取り易い一般書籍を中心として閲覧に供し、貴重書は閉架書庫にて保管した。

あわせて、学芸員や教育普及担当と連携し、展覧会に応じた特設コーナーや子ども向け相談コーナーを設けるなど、誰もが入室しやすい環境を整えて「開かれた図書室」を目指した。

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

美術館が連携する企画や区民の文化活動を支援し、施設の利用促進及び利用者サービスの向上を図るため、講座室を貸し出し、内訳は一般利用が 79 件(日数 37)、墨田区の利用が 72 件(日数 29)であった。

貴重な北斎作品等資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務を優れた実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。

あわせて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する新たな専門業者に委託し、繁閑等の状況に応じて、フレキシブルな人員配置が行われるなど効率的な業務改善を図ることができ、経費を下げることもつなげることができた。

Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等さまざまな担い手の取組みを把握し、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、それぞれの主体的で持続的な活動の展開を促す。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成をはかり、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

さらに、国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。募集段階での申請者からの相談、選考前のヒアリング、助成活動に対する現地視察を行うことで、区内で活動する文化団体の実態の把握と課題の抽出に努めている。

■事業概要

- ・申請要件:5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・対象事業:広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。
- ・助成金額:対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①団体の資質②事業の公益性③事業の芸術性④事業の計画性・運営面を基準に、書類審査とヒアリングを経て決定する。
- ・選考結果:採択活動7件(応募10件)、助成金総額345万円

■実施概要

時期	内容
平成31年4月1日(月)	令和元年度交付決定通知
4月1日(月)～3月31日(火)	採択活動の実施、随時視察
令和元年11月21日(木)～12月13日(金)	令和2年度助成対象活動募集
令和2年2月12日(水)	令和2年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、平成26年度に開設した本サイトは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されており、登録者が区内で行うイベント情報を掲載できる。平成30年度より、財団が当該事業を担うこととなり、イベント情報の掲載と各種問合せに対応した。

令和元年度の総アクセス数は1万9,890件、総ページビューは3万7,832ページビューであった。

■登録件数

	イベント	アーティスト	文化芸術団体	民間施設	公共施設
令和元年度	92	51	36	51	14
平成30年度	62	49	34	49	14
平成29年度	35	42	36	47	13

3 文化政策及び文化事業に関する調査

平成 30 年度、墨田区からの委託により実施した「文化芸術振興のあり方」検討調査に基づき、当財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。あわせて、財団が取り組む事業の改善に向けて、財団アドバイザリーボードからの意見を聴取した。

(1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が文化庁の助成を得て取り組む事業「Meeting アラスミ！（＝アラウンドすみだ川）」の勉強会やシンポジウム等へ出席。足立区、墨田区、台東区の文化施策に関する情報提供や意見交換のほか、全国各地で文化による地域活性や他領域との連携による事業を展開する事例を学んだ。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、国や東京都が取り組む文化プログラムや「東アジア文化都市」に関する情報収集を行い、一部、事業にも反映させた。

(2) アドバイザリーボードを活用した検討

令和元年度は、区内の文化芸術団体等へのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、「すみだ文化芸術活動助成事業」と「隅田川 森羅万象 墨に夢」の 2 つの支援プログラムの成果と課題や、より効果的な文化芸術に係る助成制度のあり方について、文化政策の専門家からなるアドバイザリーボード委員からの助言を受けて検討した。

会議日程:令和 2 年 3 月 18 日(水)15:00～17:00

テーマ:より効果的な文化芸術に係る助成制度のあり方について

検討内容: ①今後の財団における助成制度の方向はどうあるべきか

②助成に対する効果測定をするための仕組みはどうあるべきか

③今後、助成事業を運営する組織はどうあるべきか

4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開館を機に、平成 28 年に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」をテーマとして、区内及び隅田川流域で行われる多彩な表現活動を実施している団体等を募集し、採択企画に対して補助金の交付や技術サポート等を行うとともに、参加団体相互の交流を促している。

令和元年度はメイン期間を 9 月 1 日から 12 月 25 日とし、公募によるプロジェクト企画とともに、実行委員会による主催企画を実施。その一部は前年度に引き続き、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、2019 年度オリンピック・パラリンピック推進調査として「北斎コネクト」と題して実施した。

メイン期間外にも参加団体が集う「寄合」やネットワーク企画、活動報告会を実施しており、総参加者は延べ約 11 万 5 千人であった。

■運営体制

主 催 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区

特別協賛 YKK株式会社

助 成 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

事 務 局 公益財団法人墨田区文化振興財団

■事業概要

・プロジェクト企画支援内容:1 企画あたり補助金上限 100 万円、区の施設の減免による利用可、技術サポート(照明・音響、展示施工など)の相談にも応じる。

- ・選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性②企画の実現性③テーマとの親和性④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義といった基準から、書類による事前審査と選考会での協議により決定(応募:52件、採択企画:15件)
- ・チラシ、WEB、SNSを活用した広報と、企画に取材する活動レポートの配信を行う(12件)。
- ・メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う(10件)。
- ・参加・ネットワーク団体等が集う「寄せ」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施する。
- ・選考委員による活動視察あり、公開の報告会で成果を共有し、次年度へ継承する。
- ・実行委員会の主催企画として以下7件を実施、うち⑤～⑦は「北斎コネクト」として行った。

① すみゆめ踊行列「さくらばし輪をどり」

音楽家の岸野雄一プロデュースにより、老若男女誰もが楽しめる「新しいかたちの盆踊り」を開催。近所の人から盆踊り愛好家まで幅広い人が集い交流した。

日時:9月22日(日)16:00～20:00/会場:小梅小学校体育館

② すみゆめ踊行列「影絵:水と油の輪っかっか」

影絵と音楽のアーティスト川村亘平齋が、すみだを拠点に活動する団体から着想を得て「水」と「油」をモチーフに物語を制作。ワークショップに参加した子ども達も劇中に登場した。

日時:9月29日(日)18:00～19:00/会場:緑町公園

③ KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～両国すみゆめ場所」

段ボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内4カ所(東向島、キラキラ橋、亀沢、東駒形)で行い、一堂に会する「本場所」を開催。相撲関係者による太鼓や弓取式などの実演、すみだならではの相撲文化を伝える機会ともなった。

日時:10月13日(日)14:00～17:30/会場:YKK60ビルAZ1ホール

④ 鈴木康広「ファスナーの船」

鈴木康広の代表作「ファスナーの船」を隅田川で運航するとともに、ゲストを招いてのトークイベントを3回開催(9月25日、10月4日・16日)した。

運行期間:11月2日(土)～10日(日)12:00～14:00/場所:隅田川(吾妻橋～桜橋)

⑤ 北斎祭りプラス

例年秋に開催されている「北斎祭り」と連携し、漫画家しりあがり寿アイデアのねぶたを弘前の組ねぶた団体が制作して、伝統的な弘前ねぶたとともに北斎通りを運行させた。

日時:10月19日(土)16:30～18:00/場所:北斎通り

⑥ ファスニングショー@桜橋

アーティストの西尾美也がファッションタウンすみだの魅力に迫りつつ監修。地元で活躍する劇団員、中高生、車椅子利用者などが登場する“ファスニング(=つながる)”ショーを開催した。

日時:10月26日(土)15:00～17:00/場所:桜橋

⑦ KOSUGE1-16「ネイバーランド」

東向島の空き工場を活用し、町工場の職人の技で制作された等身大のサッカーボードゲームや自転車で動くメリーゴーラウンドなど、誰もが気軽に触れて遊べるアート作品が出現した。

日時:10月26日(土)～11月10日(日)、11月1日(金)～5日(火)

会場:北條工務店となり、すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)

■実施概要

時 期	内 容
平成 31 年 4 月 1 日(月)～25 日(木)	「プロジェクト企画」の募集、応募(52 件)
5 月 30 日(木)	選考会にて 15 企画を採択
6 月 21 日(金)	オリエンテーション及び第1回寄合
9 月 1 日(日)～12 月 25 日(水)	「すみゆめ 2019」メイン期間
令和 2 年 2 月 15 日(土)	2019 年度活動報告会&シンポジウム

※実行委員会の開催:平成 31 年 7 月 12 日、10 月 6 日、令和 2 年 3 月 18 日

※「寄合」の実施(8 回):平成 31 年 6 月 21 日、7 月 31 日、8 月 20 日、9 月 13 日、11 月 15 日、12 月 20 日、令和 2 年 1 月 17 日

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

2020 年に東京都が主催する文化プログラム「隅田川怒涛」の実現に向けて、企画者である区内 NPO 団体への情報提供等を行うほか、関係機関で構成する連絡会に参加した。また、隅田公園及び北十間川の整備に伴う文化的活用や隅田川のにぎわい創出や親水テラスの利用等についての相談対応や意見交換を行った。

さらに、アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」及び「北斎コネクト」を通じて、地元事業者からの協力・参加を多く得たほか、まちづくり団体の企画と連携して事業を推進した。従来の地域活動や催しと結びつく展開や、地元で活動する多彩な団体との連携を図ることができた。

IV その他（新型コロナウイルスによる影響について）

1 令和元年度

音楽振興事業及び北斎振興事業は、令和2年1月より顕在化した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年2月22日以降、大きな影響を受けている。

(1) 音楽振興事業

令和2年2月21日付け「墨田区の新型コロナウイルス感染症への対応に伴う すみだトリフォニーホール利用料金の返還及び感染症拡大防止策の実施について(通知)」に基づき、令和2年3月10日実施予定の「すみだ平和祈念音楽祭 2020 上岡敏之&新日本フィルハーモニー交響楽団」、同年3月29日実施予定の「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ第29回演奏会」の主催公演を中止している。また、貸館事業においても令和2年2月22日以降、利用者への自粛要請等によって、施設利用のキャンセルが相次ぎ、施設利用率は大きく低下している。

(2) 北斎振興事業

墨田区の要請に基づき、すみだ北斎美術館を令和2年2月29日から同年3月19日まで臨時休館としたこと、また、同年3月5日、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部で「水際対策の抜本的強化に向けた新たな措置」の決定を契機として、外国人観光客の急激な減少がもたらされたことから、同美術館の観覧者数についても大幅な減少が生じている。

2 令和2年度

令和2年5月25日、政府により東京を含む一都三県と北海道について、4月に発出されていた新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除された。また、東京都はこれに先だって、同月22日、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の解除に向けた、社会経済活動再開のためのロードマップ(以下「ロードマップ」という。)を公表している。

令和2年度の財団運営は、特に、多数の一般の利用を想定しているすみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の利用に関して、ロードマップを遵守することによる、すみだトリフォニーホールの入場者数の制限や、前年度に発生した外国人及び邦人観光客の大きな需要喪失が回復するまでの時間的影響を受ける。こうした中、当年度は、次の事業内容の変更を検討している。

(1) 音楽振興事業

令和2年4月3日実施予定の「ファミリーコンサート」(新日本フィルとの共同主催)、5月30日実施予定の「新日本フィルの生オケ・シネマ Vol.5 チャップリン 街の灯」(主催)、6月10日開催予定の「サウンド・ドリーム・プロジェクト」(主催)については、新型コロナウイルス収束の状況を鑑み、開催日の延期を行う予定である。また、すみだトリフォニーホールの施設利用の臨時休館を令和2年6月21日まで延長している。

(2) 北斎振興事業

すみだ北斎美術館を令和2年4月7日から同年5月31日まで臨時休館とし、5月8日から開催を予定していた企画展「大江戸歳事記」については、会期の変更を6月30日からとすることを決定している。

現時点において、水際対策による一部外国人の入国制限は維持される見込みであるが、国内経済活動の再開により、感染者が継続して発生している状況にあり、新型コロナウイルスの完全な収束時期は、予測し難い状況である。

このため、財団運営において、上記のような事業内容の一部中止又は延期を行ったとしても、すみだトリフォニーホールの利用方法に与えるロードマップの影響をどこまで緩和できるかは不透明であり、また、臨時休業等により喪失したすみだトリフォニーホールの利用者数及びすみだ北斎美術館の観覧者数が、予算水準まで回復するまでに要する時間を推定することは困難である。

従って、これら予測困難な事象により収益が低迷し、財団の財務状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があるが、当該影響額について、現時点において合理的に見積ることは困難な状況にある。

しかしながら、当年度の財団運営においては、引続き執行内容の見直しを行うとともに、墨田区との緊密な連携をとりながら、財務の安定化を図り事業継続を維持することは可能と判断している。